

鹿児島流

熱いハートの医師育てます！



鹿児島県は、離島・へき地といった地域や特定の診療科において医師が不足した状態となっています。医師不足を解消するため、県では、県外在住医師の県内医療機関へのあつせんや、将来離島・へき地で勤務する医学生への奨学金貸与、医師不足が特に深刻な産科・小児科・麻酔科の研修医への奨励金支給などさまざまな対策を行っています。

一人前の医師になるためには、医師国家試験合格および大学の医学部卒業の後、臨床研修病院で臨床研修医として2年以上勤務する必要があります。

平成16年に臨床研修制度が新しくなり、出身大学の病院ではなく県外の病院でも臨床研修を行えるようになりました。すると都市圏での研修を求め、研修先に県外の病院を選択する研修医が増えたことで、県内の臨床研修医の数が減少しました。

そこで、県では、平成21年に鹿児島県医師会や県内の臨床研修病院と協力して「鹿児島県初期臨床研修連絡協議会」（以下、協議会）を設立し、県内病院へそのまま就職してくれる確率が高い臨床研修医を確保するためのさまざまな活動を行っています。

ここでは、協議会の活動内容をご紹介します！

県外医学生等出前セミナー

県外の医学生に鹿児島の病院のことや研修内容を知ってもらい、興味を持ってもらう糸口とするために行っています。先輩となる研修医や指導医が、医学生の住む場所へ出かけ、鹿児島県の最新の臨床研修について話をしたり、医学生の疑問や不安を聞き、アドバイスを行ったりしています。

参加経験者のコメント

こじま なみ

鹿児島大学病院2年目研修医 児島 奈弥さん
(国立大学法人大分大学卒業)

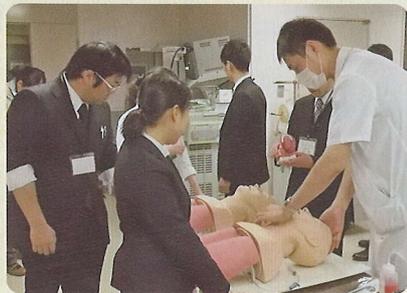


私が学生のときに、出前セミナーに来てくださった研修医の先生からいろいろな話を聞くことができて大変参考になりました。

出前セミナーに参加することで、鹿児島での研修に興味を持つ後輩が増えてくれたら嬉しいです。

臨床研修病院 見学ツアー

毎年3月に、県内外の医学生を対象に県内の臨床研修病院を巡るバスツアーを行っています。医学生に病院全体の雰囲気を感じてもらうため、実際に病院で働く研修医や指導医たちに仕事や生活などについての話を聞いたり、病院内部の施設を見学したりするツアーです。



臨床研修病院 合同説明会

年2回、春と夏に開催する説明会です。県内の基幹型臨床研修病院がブースを出展し、医学生が研修医や指導医、病院関係者などから直接話を聞くことができます。



県外での進路説明会への ブース出展

大阪や東京などの県外で行われる、医学生を対象にした進路説明会にブースを出展しています。ブースを訪れる医学生に対し、県内の臨床研修病院などに関する説明を行っています。

